

【平成28年度実績等取りまとめ表についての各事業以外の委員からの意見と対応について】

委員等の意見	指摘事項への対応
資料を見やすくするため、資料2の1ページの表頭の「NO.」から「担当課」までのタイトルを2ページ以降の表頭にも表示してもらいたい。	各ページの表頭にタイトルを表示するよう改めます。
資料2の「評価の理由」等の実績の数値の記載されている事業と記載されていない事業があり統一されていない。数値の記載されている事業については、適正な数字であるかこの資料だけでは判断できない。表記についても統一性がなくわかりづらいため、統一してもらいたい。	現計画では成果指標・活動指標を記載していないため何らかの数値を示すために前回会議で検討していただき、「平成27年度決算額」、「平成28年度予算額」、「平成28年度決算額」を追加しました。各事業の実績数値につきましても、現計画に成果指標・活動指標を記載していないため、担当課の自主性に任せた結果、統一性がないものとなっております。次期計画策定時に明確な成果指標・活動指標を盛り込んでいくよう取組んでいきます。
塾に通えない子どもたちへの学習支援について、委託事業者が決定したと聞いたが、今後、この計画に組み込んでいくのか。	子どもの貧困対策事業については、現計画には盛り込んでいません。現在、学習支援や子ども食堂などの子どもの貧困対策事業は社会的にクローズアップされており、次期計画には何らかの位置付けをしていくものと認識しています。学習支援事業につきましては、福祉部生活支援課が主に生活困窮世帯の中学生を対象として、委託事業者を選定し、平成29年10月より定員20名で事業に着手していると聞き及んでいます。
尾崎幼稚園の耐震問題については、保護者だけの問題ではないので、地域の方も含め広報等をどうしているのでしょうか。	尾崎幼稚園耐震問題につきましては、保護者の方へは、文書や説明会において確実に情報提供を行ってきました。地域の方については、広報誌などで情報提供を行ってきたところです。今後、今年度に耐震化を行う予定以外の未耐震の建物の取扱いについては、子育て拠点の再構築の中で検討されるため、その内容につきましては、地域の方へも情報発信を行っていきたいと思います。
放課後総合こどもプラン事業については、地域での居場所づくり活動と重複していることが判明し、後日、HP等での掲載を確認した経緯があります。既存のHPや広報誌等を活用し発信をしていただきたいこととHPを利用できない環境の方等への情報発信はどうされているのでしょうか。	放課後総合こどもプラン事業については、小学校及び広報誌で募集を行っております。取組みの紹介等につきましては今後、周知方法を検討していきます。